

(社)群馬県トラック協会前橋支部 3月活動報告

東北・関東大震災による多大な被害

被害に遭われた会員様には心よりお見舞い申し上げます



◆平成23年3月11日は今後忘れることの出来ない日となりました。

大震災の翌日、前橋支部では全会員宛に緊急連絡を出し、被害状況を確認。以下の回答を得ました。

| ①報告状況 | | |
|--------------------------|-----|-------|
| 回答数 | 被害 | |
| | 無し | 有り |
| 94社 | 80社 | 14社 |
| 支部会員145社 | | 14.9% |
| ・電話確認し軽微な被害有り +6社 | | |
| 100社 | 修正後 | 20.0% |

※20%が何らかの被害に遭った

| ②被害状況 | | |
|---------|-----------|------|
| 自社 | | 取引先 |
| 県内 | 県外(東北・茨城) | |
| 物品落下20社 | 物品落下4社 | 音信不通 |
| 建物亀裂7社 | 建物亀裂4社 | 道路不通 |
| 商品破損5社 | 倉庫破損4社 | 車輛被害 |
| 倉庫破損4社 | 商品破損4社 | |
| 設備破損1社 | 車輛被害1社 | |

※全国企業は含みません

| ③二次被害 | | |
|-------|-------|------|
| ・燃料不足 | ・計画停電 | ・放射能 |
| 輸送停止 | 冷蔵倉庫 | 農畜産物 |
| 出勤困難 | 冷凍倉庫 | 風評 |
| | 保冷車 | |
| | 通常業務 | |

※燃料・停電は共通の被害です

◆左の写真は3/18仙台までの医療品緊急輸送に事務局も同行した際に撮ったもの。前橋市内では給油渋滞で長蛇の列。開通前日の北関東道を開通前に乗り東北道での輸送車輛。簡易トイレの先には群馬県消防援助隊の10数台が被災地向かっていた。道路破損多数。

| ④緊急輸送(社名敬称略) | | |
|--------------|--------|--------|
| 依頼元 | 輸送会社 | 輸送物 |
| 群馬県 | 川和運輸 | 以下順不同 |
| 消防 | 関東運輸 | |
| 病院 | 群馬くみあい | 燃料 |
| リース会社 | こだま運輸 | 重機 |
| 他 | 小山総業 | 電線ドラム |
| | 佐川急便 | LPガス容器 |
| | 西濃運輸 | 水 |
| | 太陽運輸 | 食品 |
| | 立川運輸 | 寝具 |
| | 中越運送 | 衣類 |
| | 永井運輸 | 医療用品 |
| | 日本中央 | ブルーシート |
| | 日本通運 | 棺おけ |
| | 堀越運輸 | ドライアイス |
| | ヤマト運輸 | 避難民 |
| | 吉田流通 | 他多数 |
| | 他各社 | |

上記緊急輸送は入手情報のみです。他にも輸送に当たられた会員先が多々あると思います。



◆緊急輸送で気仙沼まで行ってこられた支部会員様から「現場を見て立ちすくんだ」と聞きました。頑張ろう! などと言葉にもならないと思います。でもがんばろう 日本!

★前橋支部では会予算から義援金を拠出致しましたが、今後も受け付けますのでお申し出のある会員様は事務局までご連絡下さい。

総務企画委員会 国交省パイロット事業・第3回委員会開催

◆3月2日(水)第3回運輸安全パイロット事業委員会が県ト協で開催された。
協議内容
①1/25、支部会員に配布されたヒヤリマップCDの反響
②ヒヤリマップを活用した管理者及びドライバー向け講習会の結果報告
③今後の展開について 等。

- ★アンケートと講習会結果(東京海上リスクコンサルティング西村氏)
- ①ヒヤリマップの使用: YESが90%(NOは操作性の悪さを指摘)
- ②使用の場: 小集団活動、点呼時の指導が82%
- ③教育に有効か: YESが78%
- ④ヒヤリマップの良い点・悪い点:
 - ・走行環境に分析の視点があり良い
 - ・危険な場所を知ることは良い
 - ・意見を出し合う講習会が可能で、危険予知に巾が出る
 - ・実際にありがちな映像で分かりやすい など。他省略
 - ・映像途中の再生・逆再生ができるようにして欲しい
 - ・説明をもう少し詳細に
 - ・映像数が足りない
 - ・教育には物足りない
 - ・危険地域の情報がもう少し欲しい など。(抜粋)

ドライバー教育(KYT)に効果大!

インパクトのある映像が欲しい!

★今後について(前川危機管理調整官より)
①3月下旬にTRC講師で関東運輸局の安全マネジメント実務担当者向け説明会を実施予定。
②来年度予算は事業仕分けの影響で現時点では国交省予算として可能性は薄い。

当事業の継続については県ト協と協議中です



◆作成されたCDヒヤリマップは1/26全国運輸局次長会議にて披露された、と評価を話す関東運輸局・前川危機管理調整官

陸災防委員会 正副委員長会議開催
◆3月17日(木)13:30～県ト協にて内容は平成22年度事業結果及び収支報告と平成23年度事業計画及び予算(案)について。両委員会とも新年度は研修会の強化。又、交通・労災事故防止総決起大会の開催時期、場所などが検討された。

青年部会 「事務員向け研修会」開催
◆3月5日(土)10:00～県ト協にて前橋支部青年部会主催による「事務員向け研修会」が受講者8社16名及び部会員10名の協力により行われた。
★講師に東和銀行地域経済研究所・木元初美氏を迎え「よりよい仕事と対応をめざして」～仕事の仕方・来客対応・電話対応のノウハウ～について2時間みっちり勉強した。
★会社の内務者は「第2の営業」とよく言われる。電話での対応、来客者への対応。一つの動作で会社が良くも悪くも言われるから決して疎かには出来ない。研修中、硬い表情だった受講者も、講師の「隣の人と握手してみよう」という指示に笑顔が浮かんだ。その柔軟な対応もまた重要な部分となる。

研修は「知行合一」「一期一会」の言葉で終了した。



会員企業の活動報告

(有)こだま運輸 様

◆昭和39年、東海道新幹線が開通し列車に「ひかり」と「こだま」の名前がつけられた。当時家具職人だった渡邊社長の父親が仲間と共に家具製造の近代化を目指し前橋木工団地に「光家具」を設立。輸送別会社を「こだま運輸」と名付たとのこと。



(有)こだま運輸 (渡邊忠司社長)前橋市力丸町引越し業を主に一般貨物、産業廃棄物等輸送。

◆3月18日(金)、群大付属病院の依頼で東北大病院までの緊急輸送に事務局も同行。大きくバウンドする車中で伺いました。

創業時は家具輸送が専門だったとのことですが

◆当時は家具運送は今より遥かにいい金になった。ほろ車にタンスを30~40本と、一人で山積みにする。だからドライバーは体力があるし気の荒い者が多かった。何かあればすぐに喧嘩。当然口よりも先に手や足が出てくる。酒でも入っていれば誰も近づけないくらいの修羅場となったものです。

苦勞されたことは？ 忘れられないことですが・・・

◆社員の交通事故では大変苦しい思いをした。昔、事故を起こしたドライバーが現場から逃げた。栃木の山中にこもり、拳銃、大拳銃の警察の包囲陣により逮捕。携帯電話もない当時、知らせを受けた社長は「その場を動かないで」と警察から指示された。一体何が起きているのか全く分からない。被害者は死亡した。

葬儀に行ったが、遺族宅では玄関にも上げてもらえず外で土下座。皆が苦しい。こんな思いは二度としたくない、そう深く胸に刻んだ。

絆 ある時、他の会社で死亡事故があった。それを聞き当時その人とは直接親交は無かったが仲間数人で励ましに行った。彼は最初はとつとつと話していたが一段落した後、集まった皆が一人づつ「うちはこうだった」「俺んちはこんなことがあった」と話し始めた。俯いて聞いていたその大きな体が小刻みに震え、膝の上で硬く握った拳の上にポタリ、ポタリ。大粒の涙が落ちてきたんさ、と渡邊社長。

皆若い頃に自社の交通事故に対し真正面から向き合い、遺族の「返してくれ」という罵声を浴びた。その苦しみは当事者と同等に深く胸に刻まれ、そしてその思いを分かち合った。強い絆を感じました。行政以上に「無事故・無災害」を願う気持ちは強いのだと思います。

★送る者、受ける者、それをつなぐ者、各々の思いが一つになって緊急輸送のリレーがスタートした。



14:00群大病院で緊急物資のバトンが渡された



18:00東北大病院にリレーのバトンは渡された
暗くなって着いた仙台市内は思いのほか穏やかだった。しかしすぐその背後には苦しみに耐えている人が沢山いる。
1分でも早く被災者に物資が届いて欲しい。

滝興運株式会社 様

◆昭和44年設立。東京葛飾区西新小岩に本社を置き、埼玉、茨城、群馬に営業所を持ち関東1都7県を事業区域とする。営業内容は一般貨物・倉庫業・建設機材リース・引越業等。トステム、イナックス他住生活に係わる製品・資材等を主に運搬する。



滝興運輸・前橋営業所(山梶幸一社長)前橋市鳥羽町社名は創業者の瀧澤健氏から。大型トレーラー・クレーン・ウイング・ユニック・平ボデー等150台を有する。(写真は山梶所長)

3月「安全衛生委員会開催」(毎月開催)

★3月5日(土)9:00~前橋市鳥羽町東部公民館にて本社から小宮山専務が出席、山梶所長以下運行管理責任者及びドライバーさん21名が参加。毎月行われる社内「安全衛生委員会」が開催された。

「KYT」は良く聞きますが、「FYT」という研修があると聞き、参加させていただきました。

★会場に持ち込んだ大型スクリーンに次々と資料が映し出される。

- 1) 3月安全衛生実施事項、エコドライブ報奨金、ホウレンソウ等説明
- 2) 事故報告(前橋(営)内発生事故)
 - ① 通過した車が直後にバックしもらい事故。ステップ破損 修理代30万
 - ② 松並木のラウンドワナから3台続けて路上に出てきた車と接触。ほぼもらい事故(相手は右を見ず路上に出てきた) 修理代100万
 - ③ 路肩で脱輪し脱出不能 レッカー代13万(知り合いに依頼) など

ここでは因解で事故状況・回避策が検討されました

- 3) 22年度安全マネジメント事故目標(東京、茨城、前橋の目標値・実績値)
- 4) トラック協会内事故①葛飾区内、②立川市内、③練馬区内
バック運転時の事故防止・・・駐車場・構内
後方死角70%、降車して目視、最後行、後退前ハンドル切り後方確認、一旦停止、音を聞く、リアアウトウに物を置かない、誘導依頼 等々を注意
- 5) KYT 交差点右左折時、左折時正しいものはA・B? 道交法34条 右折時 道交法8条 直角、徐行、上り・下り時崖側停止
- 6) デジタコランキング(データ分析) 25人中6人が100点(最低で94.3点)
- 7) エコドライブポイント還元→事故発生者は支給なし(データ分析ポイント化している。最大300ポイントで30,000円になる。本日支給計約30万円)

次に待ちかねたFYT(不具合予知トレーニング)が始まった。用紙配布→各自(班別)記入→回収→読み上げ(回答は大体出揃う)ヒート、PPバンド、ケアマーク、形状物は引き出さない等注意取扱の細かい部分でも活発な意見が出る。新人ドライバーさんは真剣に聞いています。

毎回これだけの資料が作られている。小宮山専務は「今回は少ないです」と言われましたが、充実した内容に感心しました。

◆この月例「安全衛生委員会」とは別に年1回9月か10月に全営業所全社員を集め「安全大会」が行われている。ここでは無事故報奨金制度による報奨金が配られ、講師による安全講習が行われる。



★FYT(不具合予知トレーニング)
↑画面写真を見てどこに不具合があるかを各班で検討、発表。梱包の段ボールにさえ決して傷をつけてはならない。現場実務を知らなければ予想できないだろう。



自社HPより

お知らせ

第56回通常総会を

下記の通り開催します!

- ①日時: H23.5.14(土)11:00~
- ②場所: 県ト協会館
- ③他: 昼食後解散

ナズネット(運転適性診断)

環境経営委員会

◆延期しました環境経営委員会は日程が決定次第連絡致します。

事故防止委員会

春の交通安全運動 街頭指導5月に実施

◆前橋警察署より4月の危険日

- ①4/1(金)
- ②4/7(木)~13(水)
- ③4/16(土)~18(月)の3回です。新入生、新人ドライバー等に注意

陸災防委員会

- ①春の健康診断受付中! 5/7・8・14・21・22の5回です。
- ②フォークリフト安全運転講習会を5/21(土)に予定しています。別途案内致します。

青年部会

◆青年部会通常総会は5/14(土) 14:00から県ト協会館で行います。

4月です、春です。日本が一日も早く芽吹くことを祈ります。
今月の交通標語 “手を上げる 可愛い笑顔に 待つ笑顔”